

広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	広島県内の新鮮凍結血漿の使用状況とその患者予後の検証のための多施設共同研究
研究責任者 (所属科名)	北口 聡一(腫瘍内科主任部長)
本研究の目的・意義	疾患に伴い、新鮮凍結血漿 (FFP) の輸血が必要な場合があります。その使用基準については厚労省の「血液製剤の使用基準」で規定されており、それに従ってあなたの主治医は輸血を決定します。しかし、FFP の輸血における効果や生命予後について検証されたことはほとんどありません。このことを検証するために、広島県内の 14 医療機関と協力して、FFP 輸血の効果を検討したいと考えています。この研究は、平成 23 年に発足し、広島県と広島赤十字血液センターおよび県内の主な医療施設で構成される「広島県合同輸血療法委員会」の研究事業として行われます。
調査方法・研究期間	後ろ向き観察研究 データ収集期間：2018年5月31日(承認日)～2019年3月31日 研究期間：2018年5月31日(承認日)～2021年 9月 30日(解析期間等含む)
該当資料・データ	★対象となる患者様 2018年5月31日～2019年3月31日までに安佐市民病院にて新鮮凍結血漿の投与を行った方々を対象とします。 ★利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
個人情報の取り扱い	研究を行う上で知りえた個人情報に関しては匿名化を行い、厳重に管理を行う。具体的にはエクセル形式のデータベースに登録番号と氏名と病院から付与されるIDを連結した対応表を作成し、このデータベースは検査部内の外部に接続していないコンピュータのハードディスク上にパスワードを用いたファイルにて厳重に保管します。専用の登録票(エクセルシート)に記入し、匿名化した後、エクセルファイルにパスワードを設定し、各登録票を解析施設である広島大学病院へメールにて送付します。他施設においても同様の対応を行います。生

	<p>じうる紙資料についても各施設内の鍵のかかる保管庫に保存します。研究結果は学会や科学雑誌などに論文等の形式で発表する可能性があるが、いかなる場合でも個人が特定できる形式で結果が表示されたり公表されることはありません。</p> <p>当院におけるデータ管理責任者：関藤 真由美(臨床検査部)</p>
共同研究機関	<p>広島大学病院、広島赤十字・原爆病院、広島市立広島市民病院、福山市民病院、庄原赤十字病院、厚生連広島総合病院、県立広島病院、厚生連尾道総合病院、東広島医療センター、呉共済病院、中国中央病院、福山医療センター、尾道市立総合病院、広島西医療センター、三次中央病院</p>
本研究の資金源 (利益相反)	<p>本研究の資金源は厚生労働科学研究、AMED です。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
お問い合わせ先	<p>電話：082-815-5211</p> <p>担当者：関藤 真由美(臨床検査部輸血検査室)</p>
備考	